

■ せんぼくみんよう 仙北民謡の名歌手

黒沢 三一

くろさわ さんいち

出身地 大仙市（旧太田町）

1894年（明治27年）～1967年（昭和42年）

美声と独特のふしまわ節回しで「にかたぶし荷方節」「おほないぶし生保内節」などを歌い人気を博する。こだまぎょうそん小玉暁村らのせんぼくかようだん仙北歌踊団に加わって各地を公演。数多くのレコード録音を行い、せんぼくみんよう仙北民謡の全国的普及に貢献した。



年譜

- 1894年 大仙市（おおた旧太田町）に生まれる。旧姓・きゆうせい おおしだ大信田。
- 1927年 おやまばやし ぶようだん飾山囃舞踊団に加わる。
- 1930年 東京の第5回全国きょうど みんよう郷土舞踊民謡大会に出場。
- 1931年 おおさか大阪で初のレコーディング。
- 1932年 せんぼくかようだん仙北歌踊団に入る。
- 1938年 上京しレコーディング。全国的に好評を得る。
- 1940年 秋田県派遣皇軍慰問団として中国各地をいもん慰問。
- 1966年 日本民謡協会より民謡技能章受章。
- 1967年 仙北市（かくのだて ぼつ さい旧角館町）で没。72歳。